

I — B — 2

卵巣癌化学療法に伴う血小板減少に対する 人參養栄湯の効果

自治医科大学産婦人科

○鈴木光明, 大和田倫孝, 糸井英雄, 本松 茂, 玉田太朗

【目的】卵巣癌の化学療法においては cisplatin が key drug であるが, 強い抗腫瘍効果をもつ反面, 骨髄抑制作用も強く, 血球減少が dose limiting factor の一つになっている。我々は, 漢方エキス製剤の一つである人參養栄湯 (EK-108, カネボウ薬品) の骨髄機能賦活作用に期待し, 当薬剤の化学療法に伴う血球減少の防止効果について検討した。

【対象・方法】自治医科大学産婦人科において CAP 療法 (cisplatin, cyclophosphamide, adriamycin) を施行した 24 例の卵巣癌, 子宮頸癌・体癌の各 1 例, 計 26 例を対象とした。人參養栄湯投与群 (以下投与群) は 12 例, 人參養栄湯非投与群 (以下コントロール) は 14 例である。背景因子には偏りはみられない。人參養栄湯エキス製剤は CAP 療法開始時より 1 回 2.5 g, 1 日 3 回, 12 週間以上投与した。臨床検査項目は, 末梢血中白血球, 赤血球, 血小板数, ヘマトクリット, ヘモグロビン値, および肝・腎機能である。

【結果】白血球に関しては, 投与群とコントロールの間に有意な差はみられなかった。血小板については, 投与群において nadir からの回復が速く, 21 日目に前値に復した。また, 投与前値を 100 としたときの推移 (%) から検討すると, 21 日目に投与群が 109.2% を示したのに対し, コントロールは 75.9% で, 両者の間に有意差が認められた ($p < 0.01$)。赤血球, ヘモグロビン, ヘマトクリット値には変化がなかった。肝・腎機能には異常は見られなかった。重篤な副作用もみられなかった。

【考察】人參養栄湯は, 造血系に対する作用もあるといわれており, 多能性幹細胞の分化・増殖促進作用を有するとの報告がある。我々の今回の結果では, 白血球系に対する作用は見出せなかったが, 血小板に対しては回復促進作用のあることが示唆された。作用機序は不明だが, interleukin 6 を介して働いている可能性が示唆される。諸検査および自覚症状から, 重篤な副作用はみられず, 安全性の高い薬剤であると考えられた。

【結論】人參養栄湯は, 化学療法に伴う血小板減少に対して回復促進作用のあることが示唆された。血小板に対して有効な薬剤がほとんどみられない現状にあっては, 人參養栄湯は意義のある薬剤と考えられる。